

□ 教職員（学校経営に係る進捗状況点検）

| 項番    | 項目            | 肯定的回答 | R5②    | R5①    |
|-------|---------------|-------|--------|--------|
| (1)-1 | 学級経営          | 意識    | 78.3%  | 81.0%  |
|       |               | 取組    | 47.8%  | 61.9%  |
| (1)-2 | 生徒会・委員会活動     | 意識    | 100.0% | 100.0% |
|       |               | 取組    | 78.3%  | 76.2%  |
| (1)-3 | 学校行事          | 意識    | 95.7%  | 90.0%  |
|       |               | 取組    | 78.3%  | 75.0%  |
| (1)-4 | 校外・宿泊行事       | 意識    | 95.7%  | 85.7%  |
|       |               | 取組    | 82.6%  | 76.2%  |
| (1)-5 | 道徳教育          | 意識    | 87.0%  | 95.2%  |
|       |               | 取組    | 52.2%  | 71.4%  |
| (1)-6 | 挨拶、言葉遣い、身だしなみ | 意識    | 100.0% | 100.0% |
|       |               | 取組    | 87.0%  | 90.5%  |
| (1)-7 | 地域活動の参加       | 意識    | 95.7%  | 85.7%  |
|       |               | 取組    | 60.9%  | 52.4%  |

（回答数）教職員：23 60.9%：前回より－10%

学校運営協議会からの指摘事項等

○校内では、生徒が企画・運営する活動が増えているが、自己有用感が伸びていない。2学期以降の小学校との連携した取り組みや地域行事への参加の後押しをお願いしたい。教員の学級経営や道徳教育への取組不足が影響していないだろうか。また保護者の地域社会との関わりが薄くなっていることも、子ども達を評価する機会を減らしているかもしれない。

1 豊かな人間性と社会性の育成

指標) ①自己有用感80% ②小中合同活動への参加意識75%  
③地域・社会への貢献意識85% ④多様性の尊重意識95%

重点) 1 日々の学校生活の自治的活動で育てる  
1) 生徒の意見が反映され、生徒が運営する委員会・学校行事・学級  
2) 自己の役割を自覚し責任を果たす委員会・学級活動  
2 地域から学び、地域の活動への参加で育てる  
1) 地域行事や地域活動への生徒の参加と運営体験の実施  
2) 「地域の未来と自分」をテーマとした学習の実施

主な取組と実施状況（●：管理職、○：教職員、◎：生徒、□：その他）

●自己申告当初申告で経営計画の重点事項に係る取組の申告を指示し面談で確認  
○生徒会役員が職員会議でカジュアルウィークの企画の提案を実施  
◎体育大会の地域種目を生徒会が企画・実施（6/1）  
◎体育大会のテント設営で多数の生徒がボランティアとして協力（6/1）  
◎生徒会で「カジュアルウィーク」を実施（7/1～7/5）  
◎整備委員会（校内美化コンテスト）、給食委員会（給食キャンペーン）、図書委員会（図書キャンペーン）を企画・実施  
◎1年移動教室・3年修学旅行実行委員会で服装、生活のきまりを検討・実施  
□生徒会役員と学校運営協議会委員の懇談会（7/1）  
◎生徒会役員がぼんぼ祭り で古本市を出店（8/24） 募金12,424円を能登半島地震被災地域へ寄付予定

成果と課題（○：成果、●：課題）

指標達成率 ①60.9/80＝76% ②49.5/75＝66% ③67.9/85＝80% ④92.0/95＝97%

○経営計画の周知が概ね図れている。生徒の意見や声を活動に反映させることが浸透してきた。  
○生徒・保護者のアンケート結果でも、学級経営、学校運営、多様性の尊重意識の肯定的回答が多く、教職員の指導の成果がうかがえる。  
○地域活動への参加では教職員の意識・取組が高まってきたが、もう少し高いレベルを目指したい。  
●生徒の地域活動への参加意識が前年度より低下している。態度においても50%を下回っている。  
●3校合同活動については、あいさつ運動等の取組以前の調査ではあるが前年度を下回っている。  
●自己有用感が60.9%と依然として低く、学校生活や地域活動等で活躍の場をさらに広げていく必要がある。

改善の方向性

○生徒の意見を反映した委員会活動・学級活動が浸透し、諸活動において生徒の声を活かした取組が行われるようになった。さらに生徒主体の活動を推進し、生徒の実感を高めることを通して自己肯定感を高めていきたい。  
→小中一貫教育の取組として中3と小6の交流会を実施し、中学生が主体的に生き生きと活動していた。小中一貫をはじめ学校生活や地域活動における生徒主体の活動をさらに進めることにより生徒の自治力を高め、誰もが自己有用感をもち豊かな心を育む学校づくりなどを進めていく。

□ 生徒・保護者・地域アンケート

| 項番  | 設問            | 肯定的回答 | R5②    | R5①   |
|-----|---------------|-------|--------|-------|
| 1-7 | 学級経営          | 生徒    | 91.6%  | 90.2% |
|     |               | 保護者   | 86.3%  | 87.6% |
|     |               | 地域    | 55.6%  | 63.6% |
| 2-1 | 学校運営（生徒の声の反映） | 生徒    | 84.8%  | 88.4% |
|     |               | 保護者   | 80.4%  | 未調査   |
|     |               | 地域    | 77.8%  | 63.6% |
| 3-4 | 多様性の尊重意識      | 生徒    | 92.0%  | 94.2% |
|     |               | 保護者   | 88.0%  | 87.1% |
|     |               | 地域    | 77.8%  | 63.6% |
| 3-5 | 自己有用感         | 生徒    | 60.9%  | 63.7% |
|     |               | 保護者   | 69.2%  | 68.4% |
|     |               | 地域    | 77.8%  | 81.8% |
| 3-6 | 3校合同活動への参加態度  | 生徒    | 49.5%  | 55.4% |
|     |               | 保護者   | 42.0%  | 38.0% |
|     |               | 地域    | 88.9%  | 90.9% |
| 3-7 | 地域連携          | 生徒    | 74.0%  | 62.2% |
|     |               | 保護者   | 41.4%  | 41.2% |
|     |               | 地域    | 88.9%  | 90.9% |
| 3-8 | 地域社会への貢献意識    | 生徒    | 67.9%  | 78.6% |
|     |               | 保護者   | 43.5%  | 47.1% |
|     |               | 地域    | 77.8%  | 90.9% |
| 3-9 | 地域社会への貢献態度    | 生徒    | 43.3%  | 未調査   |
|     |               | 保護者   | 33.1%  | 未調査   |
|     |               | 地域    | 100.0% | 未調査   |

（回答数）生徒：364 保護者：169 地域：9

□ 実績

<学校行事への保護者等の来校数>  
○体育大会（6/1）960名、地域種目参加児童数 105名  
○道徳授業地区公開講座①（7/3） 40名  
○学校公開（10/4～9） 延べ139名  
<地域活動への教職員・生徒の参加数>  
○地域パトロール（6/6） 教職員 4名 地域 3 8名  
（8/24） 教職員 4名 地域 名  
○地域清掃（7/6） 教職員 6名 生徒 4 8名 地域 4 0名  
○学校活動支援者等 46名 PTAサポーター249名

□ 教職員（学校経営に係る進捗状況点検）

| 項番    | 項目        | 肯定的回答 | R5②   | R5①   |
|-------|-----------|-------|-------|-------|
| (2)-1 | 授業Ⅰ       | 意識    | 95.7% | 95.2% |
|       |           | 取組    | 87.0% | 85.7% |
| (2)-2 | 学習評価      | 意識    | 95.7% | 95.2% |
|       |           | 取組    | 82.6% | 76.2% |
| (2)-3 | 学習機会の確保   | 意識    | 87.0% | 81.0% |
|       |           | 取組    | 65.2% | 47.6% |
| (2)-4 | 学力調査結果の活用 | 意識    | 78.3% | 57.1% |
|       |           | 取組    | 30.4% | 14.3% |
| (2)-5 | 授業Ⅱ       | 意識    | 95.7% | 95.2% |
|       |           | 取組    | 78.3% | 71.4% |
| (2)-6 | 総合的な学習の時間 | 意識    | 91.3% | 85.0% |
|       |           | 取組    | 47.8% | 65.0% |

：前回より－10%

学校運営協議会からの指摘事項等

○授業については教職員の意識や取り組みも高く、生徒・保護者も肯定的回答が多いことは、教員の努力が実を結んでいることであり、高く評価する。

○評価については例年のことであるが、保護者の理解が低く、自由意見にもあることから、春の評価評定の説明会の時期や内容を検討することも必要だろう。

□ 生徒の授業評価

|    | 学習のねらい等 | 教え方   | ICT機器の活用 | 授業の進め方 | 授業時間  | 学習の評価 | 予習・復習 |
|----|---------|-------|----------|--------|-------|-------|-------|
| 国語 | 95.2%   | 92.7% | 50.6%    | 85.0%  | 89.3% | 87.3% | 56.8% |
| 社会 | 95.6%   | 95.0% | 81.9%    | 94.3%  | 96.6% | 93.1% | 65.7% |
| 数学 | 84.5%   | 87.6% | 39.3%    | 84.5%  | 95.5% | 87.3% | 76.0% |
| 理科 | 86.8%   | 83.8% | 53.8%    | 88.0%  | 90.0% | 83.5% | 62.4% |
| 英語 | 86.4%   | 91.0% | 91.5%    | 92.9%  | 95.5% | 88.4% | 77.4% |
| 音楽 | 89.8%   | 95.5% | 44.4%    | 95.8%  | 94.6% | 92.9% | 38.4% |
| 美術 | 93.2%   | 92.4% | 73.7%    | 92.7%  | 91.0% | 93.2% | 31.9% |
| 保体 | 93.8%   | 89.3% | 70.3%    | 90.1%  | 90.7% | 89.0% | 32.5% |
| 技術 | 85.9%   | 66.7% | 74.6%    | 78.0%  | 92.4% | 81.4% | 24.9% |
| 家庭 | 94.9%   | 88.4% | 83.9%    | 92.7%  | 95.5% | 87.6% | 35.6% |

2 学力の向上

指標) ①習得目標問題正答率80以上の割合 国語90% 数学90%  
②習得目標問題の平均正答率 国語90 数学90

重点) 1 学習機会の確保とつまずきのある生徒を支援する  
1) 授業と家庭学習を一体化させた学習指導（授業Plus）の実施  
2) 学習端末や補充教室等による学ぶ機会と支援の多様化  
2 思考力・判断力・表現力を高める授業を行う  
1) 話し合い・グループ活動を積極的に行う授業の実施  
2) プレゼンテーション力の質を高める学習活動の実施

主な取組と実施状況（●：管理職、○：教職員、◎：生徒、□：その他）

●当初申告で経営計画の重点事項に対する取組の申告を指示し、職員会議で授業観察の観点を提示

○保護者会にて評価・評定の説明会を実施（4/20）

○単元ごとに授業アンケートを実施（理科）

○合唱曲音源の学習端末への掲載（音楽）、Google classroomを活用した課題作成（数学）

○新聞への投書の授業において課題設定・情報活用・プレゼンテーションを実施（国語）

○英語でパフォーマンステスト（スピーチ）を実施

□漢字検定78名、英語検定①64名 ②58名、数学検定13名の実施 計155名

成果と課題（○：成果、●：課題）

①国語 1年80.2/90＝**91%** 2年92.8/90＝**103%** 3年91.3/90＝**101%**  
①数学 1年73.1/90＝**81%** 2年83.5/90＝**93%** 3年84.0/90＝**93%**  
②国語 1年85.5/90＝**95%** 2年89.3/90＝**99%** 3年90.4/90＝**100%**  
②数学 1年85.5/90＝**95%** 2年88.2/90＝**98%** 3年90.0/90＝**100%**

○経営計画を踏まえた教職員の具体的な取組が前年度より増えている。

○生徒の授業評価も、肯定的な回答がICT危機の活用の項目を除いて90%前後で概ね良好である。

○生徒アンケート結果では、学力に係る重点項目に対して90%以上が肯定的な回答となっている。

●授業におけるICT機器の活用では、依然として教科間の差が大きく授業づくりの視点の見直しが急務である。

●家庭学習として予習・復習に取り組む生徒が5教科で50～80%と前年度とほぼ同様であり、改善傾向あるとは言えない。習得目標問題や基礎的な学習内容の定着をさらに図るために、家庭学習を一層推奨する必要がある。

●教職員アンケートの総合的な学習の時間の取組の項目が前年度を大きく下回っている。

□ 生徒・保護者・地域アンケート

| 項番   | 設問                | 肯定的回答 | R5②   | R5①   |
|------|-------------------|-------|-------|-------|
| 1-8  | 学習指導(話し合い、ICT活用)  | 生徒    | 96.1% | 96.8% |
|      |                   | 保護者   | 94.1% | 85.9% |
|      |                   | 地域    | 55.6% | 54.5% |
| 1-9  | 適正な評価             | 生徒    | 83.9% | 83.7% |
|      |                   | 保護者   | 66.1% | 74.9% |
|      |                   | 地域    | 44.4% | 36.4% |
| 1-12 | 環境整備              | 生徒    | 92.3% | 92.5% |
|      |                   | 保護者   | 85.2% | 83.2% |
|      |                   | 地域    | 77.8% | 72.7% |
| 2-4  | 学習指導(補充学習)        | 生徒    | 81.0% | 85.5% |
|      |                   | 保護者   | 72.6% | 66.1% |
|      |                   | 地域    | 55.6% | 63.6% |
| 3-1  | 学習指導(分かりやすい授業)    | 生徒    | 93.4% | 92.7% |
|      |                   | 保護者   | 68.6% | 69.9% |
|      |                   | 地域    | 66.7% | 36.4% |
| 3-2  | 学習指導(思考力・判断力・表現力) | 生徒    | 92.3% | 90.4% |
|      |                   | 保護者   | 61.9% | 65.1% |
|      |                   | 地域    | 66.7% | 36.4% |
| 3-3  | 学習指導(家庭学習)        | 生徒    | 65.6% | 73.2% |
|      |                   | 保護者   | 69.8% | 72.7% |
|      |                   | 地域    | 55.6% | 36.4% |

学校運営協議会からの指摘事項等

○ICT機器の使用が教科によってばらつきがある。教科の特性はあるかもしれないが、現代の中学生にとっては、ICTを使いこなすことは必須の能力となるであろうから、「使わせる」姿勢を持ち、使う機会を作っていくことに勤めていただきたい。

○保護者会や学校公開に来ていたとしても、QU検査の実施の意味やはおうちでミニマムの活用方法などの細かいことも機会を見つけて説明しておく必要がある。

改善の方向性

○学習内容の習得に課題のある生徒は元より、全生徒の基礎学力の一層の向上を図る。

→家庭学習として、予習・復習、ICT教材やドリル教材を活用した繰り返し学習を授業と一体的に計画（授業Plus）・実施していく必要がある。

○全教科において、思考力・判断力・表現力高める授業づくりを行う。

→日常的に話し合い活動・グループ活動（協働学習）をさらに授業に取り入れるとともに、単元や学習のまとまりにおいて、発表活動を行うようにしていく。

○授業における学習端末の効果的な活用を模索しながら活用機会の拡大を図る。

→協働学習を計画的に設定し学習端末を活用するとともに、発表活動を意図的に行うことによりスライドの作成や話し方のスキルアップを行いプレゼンテーション力の質をさらに高めていく。

□ 学力調査の結果

(1)-1 市学力調査（令和 6 年度第 1 回）

|    | 1 年                          |      | 2 年                          |      | 3 年                          |      |
|----|------------------------------|------|------------------------------|------|------------------------------|------|
|    | 正答80以上                       | 正答率  | 正答80以上                       | 正答率  | 正答80以上                       | 正答率  |
| 国語 | <div><div></div></div> 28.9% | 72.0 | <div><div></div></div> 46.7% | 79.0 | <div><div></div></div> 49.0% | 78.6 |
| 数学 | <div><div></div></div> 57.7% | 78.1 | <div><div></div></div> 30.4% | 63.5 | <div><div></div></div> 14.8% | 49.9 |

(1)-2 市学力調査（令和 5 年度第 1 回）参考

|    | 1 年                          |      | 2 年                          |      | 3 年                          |      |
|----|------------------------------|------|------------------------------|------|------------------------------|------|
|    | 正答80以上                       | 正答率  | 正答80以上                       | 正答率  | 正答80以上                       | 正答率  |
| 国語 | <div><div></div></div> 62.6% | 83.2 | <div><div></div></div> 53.3% | 80.8 | <div><div></div></div> 52.5% | 77.4 |
| 数学 | <div><div></div></div> 46.3% | 75.8 | <div><div></div></div> 31.6% | 63.2 | <div><div></div></div> 26.3% | 56.5 |

(2)-1 はちおうじっ子ミニマム（令和 6 年度第 1 回）

|    | 1 年                          |      | 2 年                          |      | 3 年                          |      |
|----|------------------------------|------|------------------------------|------|------------------------------|------|
|    | 正答80以上                       | 正答率  | 正答80以上                       | 正答率  | 正答80以上                       | 正答率  |
| 国語 | <div><div></div></div> 80.2% | 85.5 | <div><div></div></div> 92.8% | 89.3 | <div><div></div></div> 91.3% | 90.4 |
| 数学 | <div><div></div></div> 73.1% | 85.5 | <div><div></div></div> 83.5% | 88.2 | <div><div></div></div> 84.0% | 90.0 |

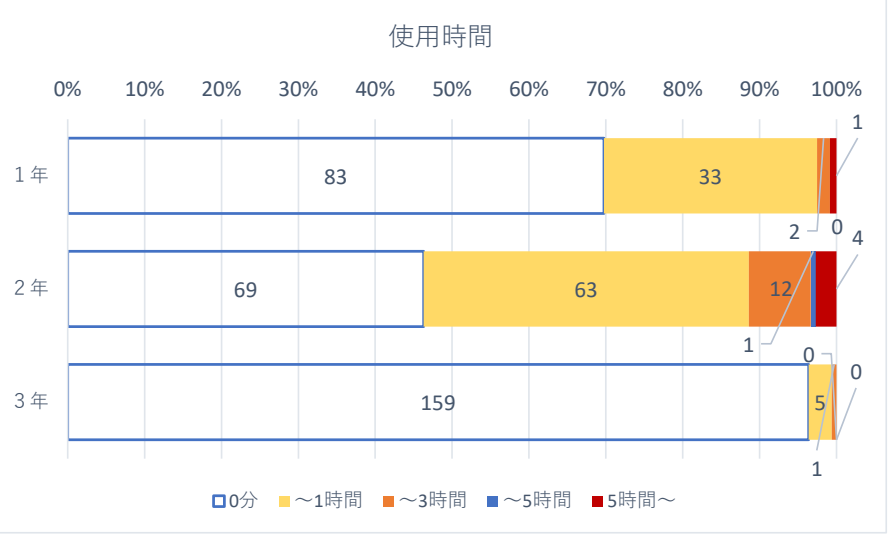
(2)-2 はちおうじっ子ミニマム（令和 5 年度第 1 回）

|    | 1 年                          |      | 2 年                          |      | 3 年                          |      |
|----|------------------------------|------|------------------------------|------|------------------------------|------|
|    | 正答80以上                       | 正答率  | 正答80以上                       | 正答率  | 正答80以上                       | 正答率  |
| 国語 | <div><div></div></div> 67.6% | 81.6 | <div><div></div></div> 84.0% | 85.8 | <div><div></div></div> 85.0% | 86.6 |
| 数学 | <div><div></div></div> 78.1% | 86.2 | <div><div></div></div> 85.3% | 89.2 | <div><div></div></div> 83.8% | 88.9 |

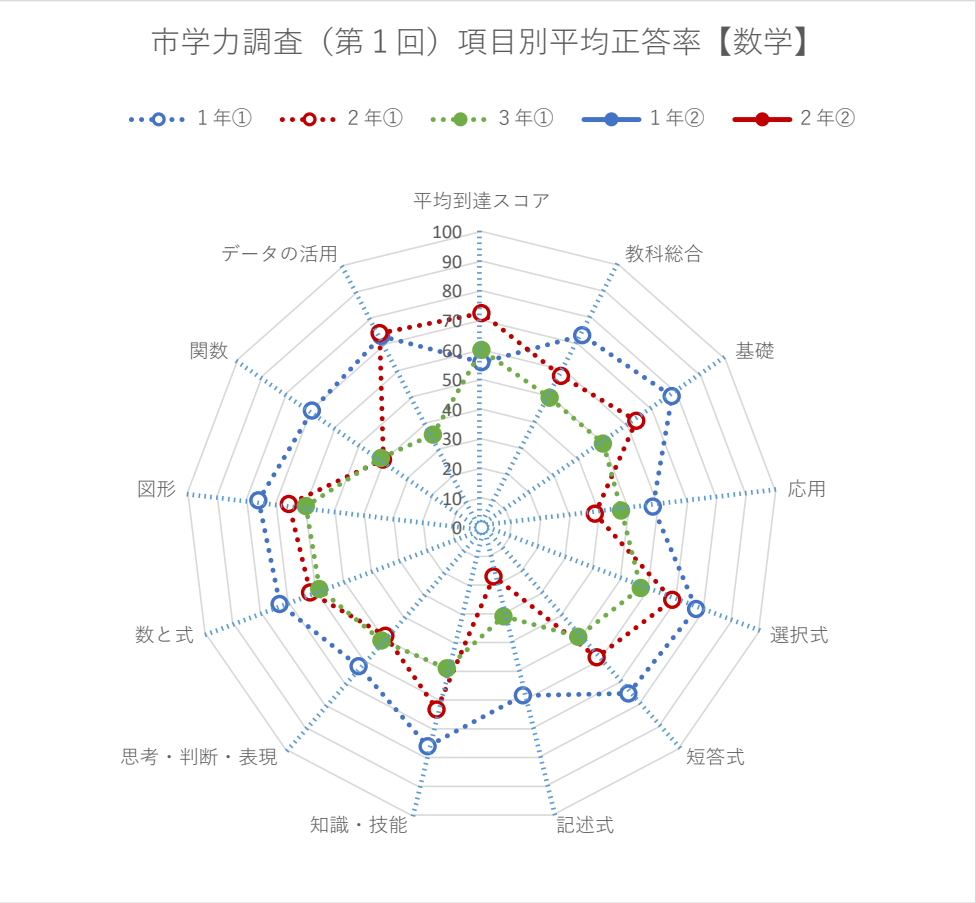
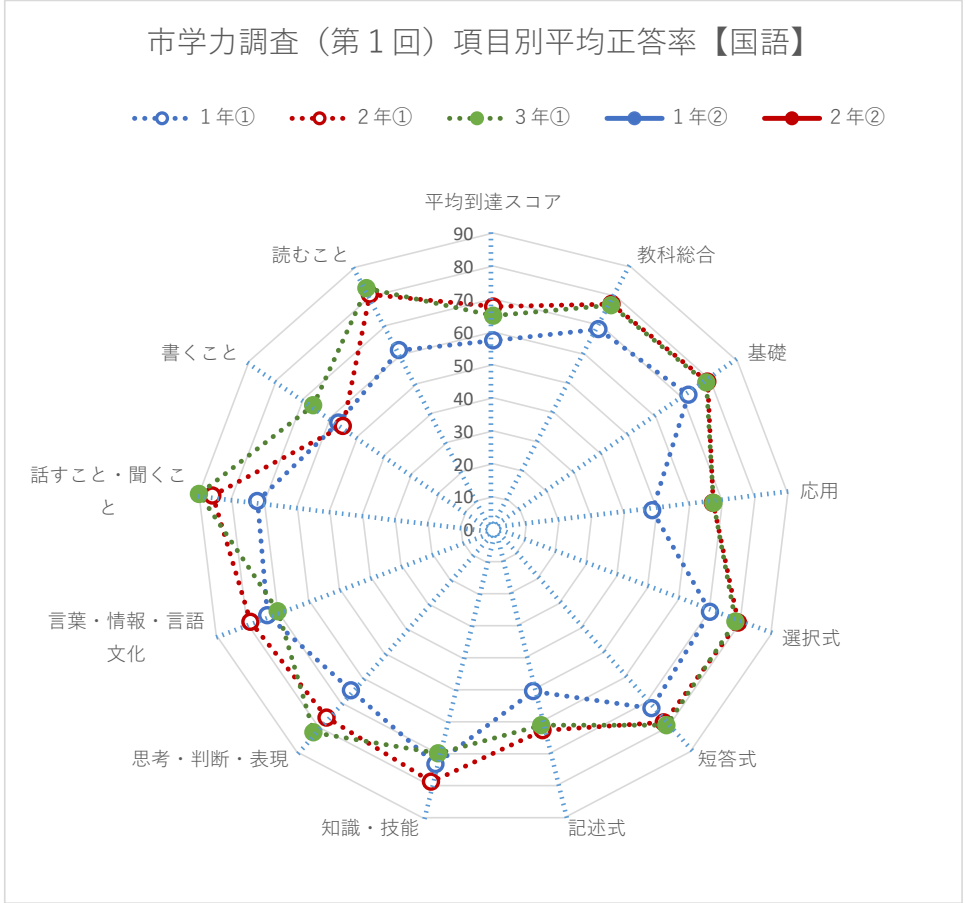
□ 学習端末活用状況

(1) ミライシードの取組状況（8 月末現在）

|     | 使用者率  | 平均使用時間 | 最大使用時間 |
|-----|-------|--------|--------|
| 1 年 | 24.2% | 26分    | 5時間33分 |
| 2 年 | 47.9% | 37分    | 7時間26分 |
| 3 年 | 0.8%  | 28分    | 1時間56分 |



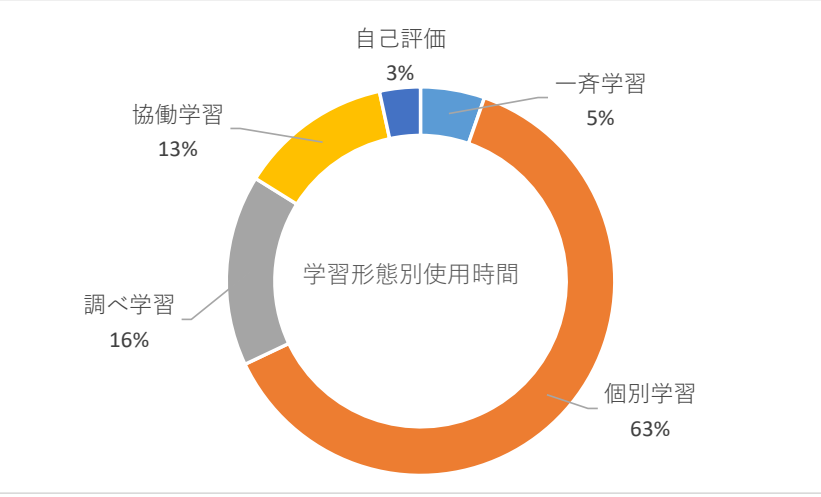
(2) 市学力調査（第 1 回）項目別平均正答率



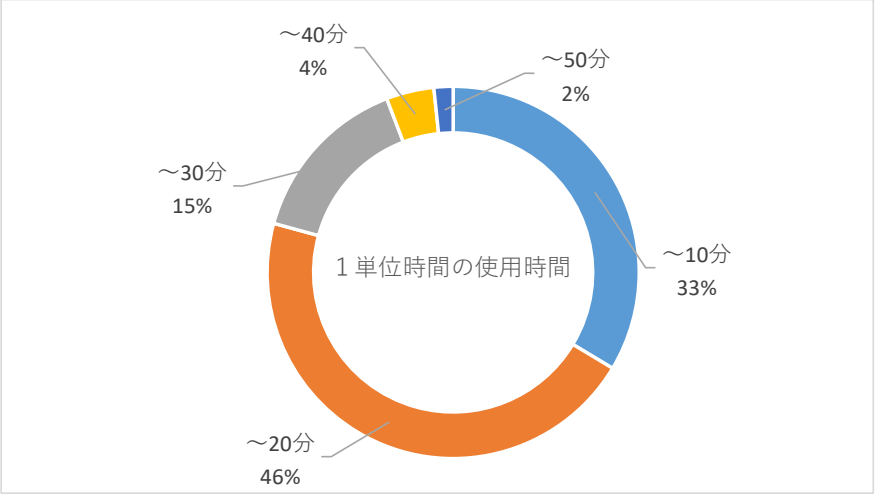
(2) 授業における学習端末の使用回数（7 月末現在）

|     | 国語 | 社会 | 数学 | 理科 | 音楽 | 美術 | 保健 | 技術 | 家庭 | 英語 | 道徳 | 学活 | 総合 | 計   | 総使用時間    |
|-----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|-----|----------|
| 1 年 | 24 | 23 | 44 | 11 |    |    |    |    |    | 13 |    | 1  | 1  | 117 | 30 h 40m |
| 2 年 | 10 | 10 | 20 | 12 |    |    | 2  |    | 2  | 29 | 1  | 1  | 2  | 89  | 26 h 30m |
| 3 年 |    |    |    |    |    | 4  |    |    |    | 22 |    | 1  | 4  | 31  | 11 h 40m |

(3) 学習態様別の使用時間



(4) 1 単位時間での使用時間



□ 教職員（学校経営に係る進捗状況点検）

| 項番    | 項目       | 肯定的回答 | R5②    | R5①    |
|-------|----------|-------|--------|--------|
| (3)-1 | 相談機会の多様化 | 意識    | 87.0%  | 100.0% |
|       |          | 取組    | 43.5%  | 66.7%  |
| (3)-2 | 外部機関との連携 | 意識    | 82.6%  | 95.2%  |
|       |          | 取組    | 43.5%  | 57.1%  |
| (3)-3 | いじめ防止    | 意識    | 95.7%  | 95.2%  |
|       |          | 取組    | 52.2%  | 76.2%  |
| (3)-4 | 生徒指導     | 意識    | 100.0% | 100.0% |
|       |          | 取組    | 69.6%  | 76.2%  |
| (3)-5 | Q-U検査の活用 | 意識    | 95.7%  | 71.4%  |
|       |          | 取組    | 39.1%  | 42.9%  |
| (3)-6 | 特別支援教育   | 意識    | 69.6%  | 76.2%  |
|       |          | 取組    | 21.7%  | 38.1%  |
| (3)-7 | キャリア教育   | 意識    | 82.6%  | 85.7%  |
|       |          | 取組    | 39.1%  | 38.1%  |
| (3)-8 | 安全教育     | 意識    | 95.7%  | 95.2%  |
|       |          | 取組    | 47.8%  | 66.7%  |

：前回より－10%

学校運営協議会からの指摘事項等

○特別支援教育に関しては、教員の取組も生徒・保護者の理解もポイントを下げている。特別支援教育は支援の必要な生徒だけでなく、その他の多様な生徒を支える基本となるべき教育であるから大きな課題と考える。様々な原因はあるだろうが、各教員がしっかりと学び、合理的配慮をする必要があり、さらには生徒への理解教育を、管理職には保護者への啓発をお願いしたい。

○相談機会の充実が大きく下がっている。担任だけでなく、誰にでも相談できる機会を作ることはいかなるだろうか。特に養護教諭には、弱音を言い悩みを相談しやすいはずである。話を受け止め、SCや生徒支援部、登校支援委員会につないで欲しい。

3 一人ひとりの可能性を拓く支援体制の充実

指標) ①学校満足度 ②相談機会への満足度 生徒90% 保護者85%

- 重点)
- 相談機会の多様化を進める
    - 学習、生活、いじめ防止等、生徒の課題に即した相談機会づくり
    - 個々の特性とQ-U分析を活かした生徒指導の実施
  - 体験的な活動を生徒のキャリア形成につなげる
    - キャリアパスポートを活用した生徒の未来像の形成
    - 個々の状況に応じた進路ガイダンスと相談の実施



主な取組と実施状況（●：管理職、○：教職員、◎：生徒、□：その他）

- 生徒支援部を新設し、不登校問題と特別支援教育を関連付けて対応する体制を構築
- アレルギー事故に係る初動対応のロールプレイングの実施（7/19）
- 登校支援委員会（毎週金曜日1校時）、校内委員会（毎週水曜日2校時）に実施
- いじめ防止対策委員会（毎週金曜日6校時）に実施
- いじめ防止プログラムの実施（6/6）
- Q-U検査の実施（6月）と生徒指導への活用
- 職員室前スペースを自習スペースとして机や電灯を整備（8月末）



成果と課題（○：成果、●：課題）

指標達成率 生徒 ①91.4/90=102% ②84.3/90=94% 保護者 ①85.2/85=100% ②78.1/85=92%

- 経営計画への意識化は概ね図れており、指標達成率も90%を超えている。
- 生徒・保護者アンケートにおいても、一部の項目を除いて90%前後が肯定的な回答となっている。
- 特別支援教育への理解や取組に対する回答が低く、引き続き改善に取り組む必要がある。
- 教職員アンケートの相談機会、外部機関との連携、いじめ防止、特別支援教育、安全教育の各項目で前年度を10%以上下回っており、改善が必要である。



改善の方向性

- 8月末に不登校生徒等の居場所も兼ねて職員室前に自習スペースを整備し、今後活用していくことを通して多様な登校スタイルに対応する手立てとしていく。
- 生徒支援部を新設し、不登校や特別な支援を必要とする生徒への対応をさらに充実させていく。
- 生徒支援部の活動の充実を図るとともに、不登校問題に係る東京都の事業を受託することにより不登校問題の改善と特別支援教育の充実に向けて一体的に取り組んでいく。
- 特別支援教育への理解・啓発をさらに進めていく。
- 特別支援教育に係る研修を計画的に進めるとともに、生徒支援部を核とした相談活動や生徒支援の充実に向けた取組を検討していく。

□ 生徒・保護者・地域アンケート

| 項番   | 設問            | 肯定的回答 | R5②   | R5①   |
|------|---------------|-------|-------|-------|
| 1-4  | 安全指導          | 生徒    | 94.7% | 96.5% |
|      |               | 保護者   | 95.3% | 96.3% |
|      |               | 地域    | 66.7% | 72.7% |
| 1-5  | 人権教育          | 生徒    | 92.0% | 91.3% |
|      |               | 保護者   | 88.2% | 86.5% |
|      |               | 地域    | 66.7% | 72.7% |
| 1-6  | いじめ防止への対応     | 生徒    | 89.5% | 88.2% |
|      |               | 保護者   | 75.1% | 76.3% |
|      |               | 地域    | 55.6% | 54.5% |
| 1-10 | 生活指導          | 生徒    | 95.1% | 93.3% |
|      |               | 保護者   | 92.3% | 88.8% |
|      |               | 地域    | 77.8% | 72.7% |
| 1-11 | キャリア教育        | 生徒    | 87.6% | 89.0% |
|      |               | 保護者   | 94.6% | 93.5% |
|      |               | 地域    | 77.8% | 54.5% |
| 1-13 | 特別支援教育        | 生徒    | 68.0% | 72.2% |
|      |               | 保護者   | 36.7% | 40.6% |
|      |               | 地域    | 77.8% | 54.5% |
| 2-5  | 生活指導(生活指導の取組) | 生徒    | 93.1% | 94.8% |
|      |               | 保護者   | 90.5% | 86.6% |
|      |               | 地域    | 66.7% | 81.8% |
| 2-7  | 相談機会の満足度      | 生徒    | 84.3% | 85.2% |
|      |               | 保護者   | 78.1% | 81.8% |
|      |               | 地域    | 44.4% | 54.5% |
| 3-10 | 学校満足度         | 生徒    | 91.4% | 88.4% |
|      |               | 保護者   | 85.2% | 83.9% |
|      |               | 地域    | 66.7% | 90.9% |

学校運営協議会からの指摘事項等

○学校生活に対する生徒の満足度は高いが、教員のいじめ防止と安全教育の取り組みが減っている。どちらも生徒の命に関わる部分であり、少しの油断が大きな事故につながる。それを自覚し、危機管理に不断の取り組みをお願いしたい。

○加えて、「チーム松木」の自覚を持ち、自分のクラス・学年だけでなく、学校全体として一つのチームで動くことの意味（特に連絡体系ができていないか）を再確認してください。

□ 教職員（学校経営に係る進捗状況点検）

| 項番    | 項目          | 肯定的回答 | R5②   | R5①   |
|-------|-------------|-------|-------|-------|
| (4)-1 | 小中一貫教育      | 意識    | 91.3% | 81.0% |
|       |             | 取組    | 43.5% | 27.3% |
| (4)-2 | 教育活動の一体的な推進 | 意識    | 71.4% | 61.9% |
|       |             | 取組    | 19.0% | 0.0%  |

：前回より－10%

5 その他

□ 教職員（学校経営に係る進捗状況点検）

| 項番    | 項目                 | 肯定的回答 | R5②   | R5①    |
|-------|--------------------|-------|-------|--------|
| (5)-1 | 開かれた学校づくり          | 意識    | 82.6% | 66.7%  |
|       |                    | 取組    | 26.1% | 9.1%   |
| (5)-2 | 地域運営学校としての学校運営の充実  | 意識    | 65.2% | 57.1%  |
|       |                    | 取組    | 13.0% | 9.1%   |
| (5)-3 | PTA・青少対との連携・協力     | 意識    | 87.0% | 66.7%  |
|       |                    | 取組    | 56.5% | 40.9%  |
| (5)-4 | 部活動の充実             | 意識    | 91.3% | 90.5%  |
|       |                    | 取組    | 73.9% | 61.9%  |
| (5)-5 | 服務事故防止             | 意識    | 91.3% | 100.0% |
|       |                    | 取組    | 65.2% | 59.1%  |
| (5)-6 | 働き方改革の推進           | 意識    | 73.9% | 57.1%  |
|       |                    | 取組    | 52.2% | 13.6%  |
| (5)-7 | 30周年行事の検討          | 意識    | 52.2% | 47.6%  |
|       |                    | 取組    | 34.8% | 22.7%  |
| (5)-8 | 新型コロナウイルスの感染防止への対応 | 意識    | 78.3% | 75.0%  |
|       |                    | 取組    | 39.1% | 54.5%  |

：前回より－10%

4 中学校区3校（松木中、松木小、長池小）の教育活動の一体的な推進

中期重点) 1 中学校区3校が合同で行う活動の再編成（学習指導・特別活動等）

- ① 中学校区の小・中の合同活動の推進
- ② 中学校区の小学校の活動への中学生のボランティア参加の促進
- ③ 学校・地域のネットワークを活かした相談・支援の充実
- ④ 小学校高学年からの系統的なキャリア指導計画の策定と実施



主な取組と実施状況（●：管理職、○：教職員、◎：生徒、□：その他）

- 3校合同引き渡し訓練（5/2）に実施
- ◎長池小運動会（5/25）に1～3年の生徒30名強が運営ボランティアで参加
- ◎はちおうじっ子サミットに向けて児童会と生徒会で協議（7/11）、参加（7/23）
- ◎小学校の夏季学習教室にボランティア参加 延べ10名（7/22～24）
- ◎小・中合同あいさつ運動（8/28～29）に生徒が延べで150名参加
- ◎図書委員会で「小中交流おすすめ本紹介」を企画・実施
- 学校HPを活用した学校情報の発信（9月末現在アクセス数172,054回 前年度：約85,359回）
- 放課後カフェなないろの実施（6/28 55名）（7/9 55名）
- 月例でMy定時退庁日の設定、超過勤務の状況を集計し助言
- 小中交流会を新たに実施し、中3と小6が一緒に校歌の練習や交流を実施（9/13）



成果と課題（○：成果、●：課題）

- 生徒・保護者アンケートでは、一部の設問を除いて80%を超える肯定的な回答を得た。
- 情報発信では、学校ホームページのアクセス数が前年度を大きく上回っている。
- 小中一貫教育では、児童・生徒の交流や委員会等で小学校を対象とした取組が行われるようになった。
- 働き方改革では、My定時退庁日を設定することで、職員の意識・行動に改善がみられるようになった。
- 地域運営学校としての学校運営の取組への各教職員の認識が不足しており、該当する教育活動における意識化に向けた啓発をしていく必要がある。
- 服務事故防止に係る教職員の取組の項目で数値の低下があり、改めて服務事故に対する危機意識を高める必要がある。



改善の方向性

- 中学校区3校の教育活動を一体的に進める取組を進める。
- 児童・生徒が協働する活動として小・中学生交流活動、児童会・生徒会の合同活動などを企画・実施する。
- 小中一貫教育の日に、小学校で中学校教員による出前授業や小・中学校教員によるTT授業を行う。
- 服務事故防止に向けた危機意識の日常化を図る。
- 服務事故防止研修や講話を計画的に行うとともに、日常の職務において全教職員が共通して実践する服務事故防止行動を検討していく。

□ 生徒・保護者・地域アンケート

| 項番  | 設問               | 肯定的回答 | R5②    | R5①   |
|-----|------------------|-------|--------|-------|
| 1-2 | 特色ある学校づくり        | 生徒    | 84.8%  | 87.0% |
|     |                  | 保護者   | 97.0%  | 98.4% |
|     |                  | 地域    | 100.0% | 100%  |
| 1-3 | 小中一貫教育           | 生徒    | 77.4%  | 76.5% |
|     |                  | 保護者   | 81.1%  | 85.5% |
|     |                  | 地域    | 100.0% | 100%  |
| 3-6 | 3校合同活動への参加態度（再掲） | 生徒    | 49.5%  | 55.4% |
|     |                  | 保護者   | 42.0%  | 38.0% |
|     |                  | 地域    | 88.9%  | 100%  |

□ 生徒・保護者・地域アンケート

| 項番  | 設問             | 肯定的回答 | R5②   | R5①   |
|-----|----------------|-------|-------|-------|
| 2-6 | 部活動指導          | 生徒    | 87.4% | 90.1% |
|     |                | 保護者   | 73.2% | 81.3% |
|     |                | 地域    | 78%   | 50%   |
| 2-8 | 情報発信           | 生徒    | 77.0% | 80.8% |
|     |                | 保護者   | 92.3% | 95.2% |
|     |                | 地域    | 88.9% | 50%   |
| 1-1 | 学校経営方針の周知      | 生徒    | 65.5% | 78.2% |
|     |                | 保護者   | 85.2% | 82.9% |
|     |                | 地域    | 77.8% | 100%  |
| 2-2 | 学校運営（教職員の協力体制） | 生徒    | 90.1% | 89.9% |
|     |                | 保護者   | 66.3% | 61.8% |
|     |                | 地域    | 66.7% | 50%   |
| 2-3 | 学校運営（教職員の熱心さ）  | 生徒    | 92.3% | 93.3% |
|     |                | 保護者   | 85.0% | 87.3% |
|     |                | 地域    | 77.8% | 50%   |

学校運営協議会からの指摘事項等

- 3校の教育活動の一体的推進が必要なことには一定の理解が進んできている。
- 情報発信については、HPの校長先生の写真を始め、積極的な情報発信の姿勢が成果になっている。
- 教員の服務事故防止の取り組みが下がっている。これは生徒を守るだけでなく、教員みなさんを守ることであり、ぜひしっかりと取り組んで欲しい。
- 保護者のアンケートの回収率が低いことが課題である。子ども達の教育を改善するためのものであることを周知して、できるだけ多くの回答をしていただけるように努力して欲しい。
- 保護者からの自由意見についても、問題解決に向けて適切に対応を重ねていると思う。